

第2回進路説明会 資料

2016. 10. 29

1. 進路決定までの流れ

10月29日	第2回進路説明会
11月 4～11日	第1回進路懇談会
14日	第4回実力テスト
22～25日	2学期期末テスト
12月12日～19日	第2回進路懇談会
21日	進路対策委員会
22日	終業式・進路再懇談
12月26～1月6日	私学願書取得
1月10日	始業式
1月10日～12日	私学進路相談
1月11～12日	第5回実力テスト
1月11～13日	府立大学工業高等専門学校「特別選抜」 出願
21日	府立大学工業高等専門学校「特別選抜」 論文・面接試験
24～26日	3年学年末テスト
25日	府立大学工業高等専門学校「特別選抜」 合格発表
26日	私学一斉出願
2月1、2日	府立夕陽丘高校音楽科 出願
6日	進路希望調査
2月6～8日	府立大学工業高等専門学校「学力検査選抜」 出願
10、11日	私学入試（一部の専修学校等は他の日）
12～14日	私学合格発表
13～20日	私学1.5次 出願・入試（一部の学校で実施）
12日	府立夕陽丘高校音楽科 実技検査
14日	公立特別入試出願
14～17日	第3回進路懇談
17～22日	自立支援コース 面接
19日	府立大学工業高等専門学校「学力検査選抜」 学力検査
20～21日	公立特別入試 学力検査、実技検査、面接
23日	府立大学工業高等専門学校「学力検査選抜」 合格発表
2月28日	公立特別入試 合格発表

2月 29～3月 2日	進路懇談
3月 2日	公立一般入試 一斉出願
9日	公立一般入試 学力検査
17日	公立一般入試 合格発表
22日	公立二次選抜 出願・面接
24日	公立二次選抜 合格発表

2. 平成 29 年度(2017 年度)入試

(1) 私学

①日程 2月10日：学力検査、11日：面接

②学費とその補助制度

中学校を卒業すると、もう義務教育ではありませんので、下の表の通り結構学費がかかります。力があるのに家計の影響で進学を断念することは大変残念です。そこで、数々の補助制度があります。(金額, 所得制限等は昨年度のもの, 年収は標準4人世帯の額)

必要経費(1年1年間)	公立高校の例	私立高校の例
入学金	5,650	200,000
授業料	118,800	580,000
制服	52,510	100,870
教科用図書	19,200	20,000
その他教材費・諸費	53,050	92,000
修学旅行積立金等	60,000	130,000
計	約309,210	約1,122,870

A. [授業料支援制度]

国と府から授業料のみ支援されます。その他の費用は支援されません。高校に入学してから高校を通じて申請します。

①公立高等学校

公立高校の授業料(全日制で118,800円)は、世帯の市民税所得割額の合計が304,200円未満(年収約910万円未満)の家庭は全員が国から支援されます。

② 私立高等学校・高等専修学校

支援額は家庭の収入によって変わります。最大で授業料の金額です。また大阪府外の高校については、国からの支援のみで、府からはありません。

B. [奨学金]

公的団体から無利子で学費を貸与される制度です。卒業後(上級学校に進学した場合は最終卒業後)本人が返還します。家庭の収入額により制限があります。

① 大阪府育英会(奨学金)

多くの人が利用している奨学金で、年額 授業料+10 万円以内の必要な額を無利子で借りることができます。

② 大阪府高等学校等奨学のための給付金

国公立高校に進学した場合は年額 32300 円、私立高校、専修学校等に進学した場合は 52600 円が給付(返還の必要がない)されます。

所得制限は市民税所得割額が非課税又は生活保護受給の世帯で、大阪府内の高校(一部除外)に限られます。高校等入学後に申請します。

③ その他

「日本学生支援機構」(高等専門学校対象)、「あしなが育英会」(両親のどちらかまたは両方が交通事故以外で死亡または重度障害)、「交通遺児育英会」(両親のどちらかまたは両方が交通事故で死亡または重度障害)等の奨学金もあります。案内が来ましたら、その都度「進路だより」等でお知らせします。私立高校では独自の奨学金を設けている学校もあります。

C. [私学特待制度]

私立高校の中には、入学時の成績やスポーツなどの技能により、入学金や授業料を減免する学校があります。入試の得点や順位によって決定する学校のほか、個人報告書の評定(通知票の点)だけで、入学前に決定する学校もあります。担任の先生に尋ねてください。

③私学進路相談

ほとんどの私学では「進路相談」といって、出願時に中学校での成績を見ていただき、合格の可能性について相談することができます。もちろんこの相談は予想で、可否は個人報告書と当日の学力検査、面接で決まります。

高等学校等もこの相談で入学してくれる生徒の数を予想しますので、「合格の可能性が高い」と判断された場合は、その後は他の高校等には相談しません。また、やむを得ない事情がない限り必ず出願させてください。

高校などに示す個人情報には次の通りです。①名前、②2 学期の評定(通知表の点)、③第 3 回、第 4 回の実力テストと 2 学期末テストの 5 教科の得点、④英検、漢検などの資格、⑤生徒会、委員会活動の様子、⑥部活動に熱心に取り組んでいる場合はその様子と成績、⑦家族や親せきにその学校の卒業生や在校生がいらっしゃる場合はその方の名前と年次。

ご了承ください。

(2) 大阪府立大学工業高等学校専門学校

①特別選抜(論文・面接・調査書による選抜) 1月21日 ※募集定員 40名

※応募資格=9教科評定 36 以上かつ数学、理科、英語、技術・家庭の 4 教科の合計が 18 以上

※配点 =調査書成績(130 点満点)、小論文成績(80 点満点)、面接成績(30 点満点)の合計を総合成績(240 点満点)とし、小論文成績 27 点以上かつ面接成績 10 点以上の者の中で、総合成績の高い者から募集人員にあたる者まで

②学力検査選抜 2月19日 ※募集定員 120名

※配点 総合成績 1100 点

*学力検査 数・理・英 150 点×3 科+国・社 100 点×2 科=650 点

*調査書 9 科×5×10 倍=450 点

(3) 公立高等学校

①特別選抜

※学力検査 2月14日、面接・実技検査 2月15日、合格発表 2月28日

○ 学力検査(学科試験は5教科): 5 科× 45 点=225 点

○ 評定の配点(全科各 5): 9 科× 5× 5 倍=225 点

○ 学力検査と評定の割合:

I 型 学力検査×1.4(315 点)+評定×0.6(135 点)=450 点

II 型 学力検査×1.2(270 点)+評定×0.8(180 点)=450 点

III 型 学力検査×1.0(225 点)+評定×1.0(225 点)=450 点

IV 型 学力検査×0.8(180 点)+評定×1.2(270 点)=450 点

V 型 学力検査×0.6(135 点)+評定×1.4(315 点)=450 点

・工業に関する学科(市立工芸、岸和田市立産業)、美術科(市立工芸)、演劇科(市立咲くやこの花)、音楽科(夕陽丘)、総合造形科(港南造形)

学力検査と評定の合計 450 点 +実技検査 150 点 総合点 600 点

・体育に関する学科(摂津、大塚、市立桜ノ宮、市立汎愛)

学力検査と評定の合計 450 点 +実技検査 225 点 総合点 675 点

・芸能文化科(東住吉)

学力検査と評定の合計 450 点 +実技検査 100 点 総合点 550 点

・エンパワメントスクール(成城、西成、長吉、箕面東、布施北、岬)

多部制単位制 I 部・II 部(クリエイティブスクール・桃谷)、

昼夜間単位制(市立中央)

学力検査と評定の合計 450 点 総合点 450 点

面接、自己申告書、調査書(活動/行動の記録)の比率を 2:1:1 とする

②一般選抜

※学力検査：3月9日 合格発表：3月17日

- 学力検査（学科試験は5教科）：5科×90点＝450点
- 評定の配点(全科各5)：9科×5×10倍＝450点
- 学力検査と評定の割合：

I型 学力検査×1.4(630点)＋評定×0.6(270点)＝900点

II型 学力検査×1.2(540点)＋評定×0.8(360点)＝900点

III型 学力検査×1.0(450点)＋評定×1.0(450点)＝900点

IV型 学力検査×0.8(360点)＋評定×1.2(540点)＝900点

V型 学力検査×0.6(270点)＋評定×1.4(630点)＝900点

- ・普通科（総合選択制を含み、単位制を除く）、専門学科、
総合学科（エンパワメントスクール、クリエイティブスクールを除く）

学力検査と評定の合計 900点

総合点 900点

- ・多部制単位制Ⅲ部(クリエイティブスクール)、定時制の課程

学力検査（学科試験は国・数・英）：3科×90点＝270点

評定（全教科各5）：9科×5×6倍＝270点

学力検査と評定の合計 540点

総合点 540点

- ・通信制の課程(桃谷) 学力検査：なし

評定（全教科5）：9科×5＝45点

総合点 45点

③公立高校出願と住所、名前について

（１）住所

公立の高校に出願するのは、原則として本人及び両親（どちらかが亡くなっている場合は生存されている方、離婚されている場合は親権者）の住所（住民登録されている住所）が大阪府内にある必要があります。そうでない場合も出願できますが、別の申告書などが必要な場合があります。早い目に担任までお知らせください。

単身赴任などで両親のどちらかの住民登録が府外の場合や、離婚されていて親権者が府外に住民登録をされている場合なども、申告書等が必要になります。注意してください。

定時制、通信制の高校と多部制の高校のⅢ部には、本人の住所が大阪府内にあるか、住所が府外でも大阪府内の事業所に就職する場合は出願できます。

（２）名前

公立高校は住民登録と同じ字体で本名で出願することになっています。事情によっては願書には通称だけを記入して出願することもできますが、中学校で作成する調査書には本名を書かなければなりません。その場合は必ず事前に担任までお知らせください。高校入学後は、中学校と同様通称を使うこともできます。

旧第1学区の高校では…

旧第1学区の高校が選択する学力検査の成績と調査書の評定にかける倍率と学力検査問題の種類は次の表の通りです。学力検査問題の国語、数学、英語は、A（基礎的問題）とB（標準的問題）とC（発展的問題）の3種類の中から各高校が選択します。

（社会と理科は共通問題です）

学校名	学科名		倍率の タイプ	学力検査問題の種類		
	普通科	専門学科		国語	数学	英語
東淀川	普通科		Ⅱ	B	B	B
北淀	普通科		Ⅲ	A	A	A
池田	普通科		Ⅰ	C	C	C
渋谷	普通科		Ⅱ	B	B	B
豊中	普通科	文理学科	Ⅰ	C	C	C
桜塚	普通科		Ⅰ	B	B	C
豊島	普通科		Ⅱ	B	B	B
刀根山	普通科		Ⅰ	B	B	B
箕面	普通科	グローバル科	Ⅰ	B	B	B
春日丘	普通科		Ⅰ	C	C	C
茨木	普通科	文理学科	Ⅰ	C	C	C
茨木西	普通科		Ⅰ	B	B	B
北摂つばさ	普通科総合選択制		Ⅲ	B	B	B
吹田	普通科		Ⅱ	B	B	B
吹田東	普通科		Ⅱ	B	B	B
北千里	普通科		Ⅱ	B	B	B
山田	普通科		Ⅰ	B	B	B
三島	普通科		Ⅰ	C	C	C
高槻北	普通科		Ⅱ	B	B	B
芥川	普通科		Ⅱ	B	B	B
阿武野	普通科		Ⅲ	B	B	B
大冠	普通科		Ⅱ	B	B	B
摂津	普通科		Ⅱ	B	B	B
島本	普通科		Ⅱ	B	A	A
北野	—	文理学科	Ⅰ	C	C	C

アドミッションポリシー（求める生徒像）とは？

特別入試(2月)で実技試験をする高校と一般入試(3月)の高校…

総合点の高い人から募集人員の90%に相当する人がまず合格となります。そのうえで、ボーダーゾーン（募集人員の90%から110%）に入った人は自己申告書と調査書の「活動／行動の記録」の記載内容が、その高校のアドミッションポリシー（求める生徒像）にきわめて合致する人から優先的に合格となります。

特別入試(2月)で面接を実施する高校…

（成城、西成、長吉、箕面東、布施北、岬、桃谷、大阪市立中央）

学力検査の成績がある基準に達した人から面接と自己申告書と調査書の「活動／行動の記録」を資料として、アドミッションポリシーに最も適合する人から順に、募集人員の50%を上限として合格がまず決定します。

公立高校入試の自己申告書のテーマ

公立高校の入試はすべて自己申告書を提出します。志望する高校のアドミッションポリシー（求める生徒像）にもとづいて、次のテーマで書きます。

【テーマ】

あなたは、中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

アドミッションポリシーの例

新東淀中学校の近隣の高校の例を3つ上げます。それ以外は教室に置いているアドミッションポリシーを見てください。担任の先生も持っています。（柴島高校のアドミッションポリシーは昨年から変わっています）

北淀高校

本校では、きめ細かい指導を特色とし、規律・自主性を重んじるとともに、思いやりの心や人権尊重の精神等、豊かな人間性を育む教育を実践しています。また、ユネスコスクールとしての活動や2年次からのコース制で、生徒の自己実現を図っています。他の生徒と協調しながら、自分の可能性を伸ばそうと努力する生徒を求めます。

- 1) 本校志望の意志が強く、「造形」「情報」「教養」のいずれかのコースで自己実現をめざす生徒
- 2) 中学校での活動（部活動、生徒会活動）に積極的に取り組み、入学後も活動を継続する意志を持った生徒
- 3) 国際交流活動に取り組み、夢に向かってチャレンジする生徒
- 4) 人に対して思いやりの心を持ち、人の立場を理解して行動できる生徒
- 5) 規則正しい生活ができ、高校生活を前向きに送ろうとする意志を持った生徒

柴島高校

本校は、一人ひとりを大切に作る教育を創立以来の伝統とする学校です。社会で主体的に生きていくための学力を育てる「コアカリキュラム授業群（2020年の大学入試改革への対応も視野に入れています。）」、自分だけの時間割を作成するなかで自己決定力を育てる「総合学科システム（自分のことは自分で決める力です。）」、そして一人ひとりが自分らしさを持って生きていくことを可能にする「多様性尊重の取組。キーワードはリスペクト。（たとえ自分とは違っていても相手を認めること・受け入れることです。）」が本校の特色であり、常に変化する今日の社会のなかで「未来を変える力」を育むことを目標にしています。

- 1) 自らの個性を発信することのできる生徒
- 2) 互いの違いを尊重することのできる生徒
- 3) とともに学びともに生きる集団作りに貢献したい、という強い意志を持った生徒
（本校は、知的障がい生徒自立支援コースを設置しています。）

東淀工業高校

本校は、「誠実・創造・勤勉」を校訓に掲げ、ものづくり産業の担い手となる人材の育成を目標に様々な教育活動を展開しています。本校では、就職や進学など、自分の進路について考え、目的意識のはっきりした生徒の入学を期待しています。

- 1) 「ものづくり」への興味・関心があり、工業に関する知識・技術の習得に強い意欲を持っている生徒
- 2) 各種の資格取得・検定試験にチャレンジする生徒
- 3) 学校や社会のルールやマナーを守り、基本的生活習慣が身についた生徒
- 4) 学校行事及び学級活動、部活動に積極的に参加する生徒